



## 「 怖くなくなった注射 」

注射が嫌いでたまらなかった政宗。今まではインフルエンザ予防注射接種時、部屋に入らない、注射後は母を叩いて怒って、診察室で全く動かなくなり、他の患者さんを長いこと待たせたりと、冷や汗ものでした。

けれどこの冬は、それとなく言い聞かせていきましたら、自分からすると言い、泣かずに、しかも最中は九九を言いながら気を紛らわせて終わることができました。私も看護師さんも驚き、冷静でしたが注射した先生も驚いていたと思います。

(たんぼ組のまさむね君のお母様より)

注射中、得意な九九を唱えるという良い方法を自分で考え、痛さや怖さを乗り越えましたね。予防注射の大切さもわかるようになり、お母さんを困らせないようにとも思ったのでしょうか。成長と共にたくましさも感じます。お母さんの温かな励ましに、まさむね君十分応えましたね。

(保育士より)

## 「 私の特效薬 」

先日、私が風邪を引いてしまった時のことでした。なかなか眠れず咳をしていると、ずっと背中をさすってくれたり、マスクを持って来たり、布団から身体が出ない様子にずっと見つめたり、「大丈夫？大丈夫？」と声かけ続けていた梨香ちゃん…。

あまりにも嬉しくて私が涙を流してしまい…。それを見た梨香ちゃんも泣いてしまい…。二人で抱き合ってわんわん泣いてしまいました。(笑い)翌日、ピタッと咳が治り、風邪もすっかり治りました。最高の看病でした。

(ひまわり組りんかさんのお母様より)

お母さんの風邪を心配して、少しでも楽になるようにと細やかに世話をしたりんかちゃんの優しい姿に胸をうたれます。お母さんを思うりんかちゃんの一途な気持ちは、お母さんにとって本当に大切な特效薬ですね。

(保育士より)

## 「 せっかく歌っているのに 」

我が家には4歳と1歳の姉妹がいます。姉の行動が気になる妹は、姉のしていることに手を出すので、日々バトルを繰り広げます。

ある日、姉がキーボードで音楽をかけながら、付属のマイクで「ぶんぶんぶん」を熱唱していると、妹が音楽をストップしてしまいました。「んー、もう、せっかく歌ってるのに。」と、今度はストップされないようにガードしながら最初から歌い直していました。

(ひよこ組のほのかちゃんとこすもす組のゆうかさんのお母様より)

ゆうかちゃんは歌いたくて、ほのかちゃんは機器に好奇心いっぱい。年齢差や興味の違いで、ぶつかり合うこともあるのでしょうか。でも、お母さんの温かい見守りの中で伸び伸びと自分を表現して楽しんでいきますね。もうすぐ、姉妹デュエット曲を聞くことが出来るのではないのでしょうか。

(保育士より)